

広報「農地・水・はまぐち」



来年度から始まる圃場整備対象水田の前にて

平成26年6月5日、せいぶ館前に植栽作業を行なった芦崎地区老人クラブの皆さん。(芦崎ふるさと会)

運営委員会会長あいさつ

「農地・水保全管理支払交付金」の活動を2年間、基礎活動及び農村環境保全活動で地域の方々の参加で実施して来ました。ところが、平成26年度より名称替えて「多面的機能支払交付金」となり初年度を迎えました。この事業も5年を1期として取り組むこととなります。2年間事業に参加してきている様子からは事業の必要性がかなり理解されてきています。今後もひとりでも多くの方の参加をお待ちしております。

今回の広報5号は、各地域の環境整備ということで「花の植栽を」特集してみました。それぞれの地域で構成に特色があって見ごたえがあります。この機会に是非植栽地を訪ねてもらいたいと思います。

また、浜田農水環境保全隊の植栽周辺の農家の人からは、以前よりはゴミのポイ捨てが少なくなったという話を聞きました。これも活動の効果のあらわれと嬉しく思っております。これからも、この活動を継続して行きますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

目次

1ページ	運営委員会会長あいさつ	7ページ	運営委員会の活動水生生物調査
2ページ	浜田農水環境保全隊の活動	8ページ	平成26年度水生生物調査結果
3ページ	大口みどり会の活動	9ページ	運営委員会の活動昆虫生息調査
4ページ	芦崎ふるさと会の活動	10ページ	運営委員会の活動昆虫生息調査
5ページ	大谷地まるやま会の活動	11ページ	平成26年度昆虫生息調査結果
6ページ	運営委員会の活動水生生物調査	12ページ	平成26年度実施活動報告(前期分)

農道の景観を良くするための花を植える活動

浜田農水環保全隊の植栽活動



補植をするためには、まず草取りから、雨の中の作業でした。(6月11日)



補植作業メンバー、天気も良くなったので作業をガンバロー(6月11日)



欠株のところに、マツバギクを植えています。(6月11日)



草取りは、私たちにまかせて。(7月28日)



花はやっぱりピンクが映えますね。マツバギク(6月17日)



草取り後、きれいに咲いてみんなを楽しませましょう。ヒメイワダレ草(7月28日)

農道の景観を良くするための花を植える活動

大口みどり会の植栽活動



植栽箇所の重機を使っての整地作業です。
(6月10日)



土砂が水路に流れないように花壇の土留め作業です。
(6月10日)



お母さんと一緒に植えました。(6月14日)



このミミズ大きくてすごいでしょ。
(6月14日)



ハイ、こっちを向いて、パチリ。(6月14日)



色あざやかな、立派な花壇が出来上がりました。
(8月18日)

農道の景観を良くするための花を植える活動

芦崎ふるさと会の植栽活動



軽トラックで運ぶのも大変でした。(6月5日)



一生懸命植えました。(6月5日)



私たちの笑顔もきれいでしょう。(7月31日)



草取りも大変なんです。(7月31日)



草取り後、水もいっぱいかけました。(7月31日)



カンナ、サルビア等何種類もの花が咲いています。(7月31日)

農道の景観を良くするための花を植える活動

大谷地まろやま会の植栽活動



植栽担当老人クラブの面々です。植栽前の草取り。
(5月31日、6月1日、3日)



水路の脇の草取りです。石ころがあって大変でした。
(5月31日、6月1日、3日)



よく育つように、植え穴に肥料をまきました。
(6月8日)



植えた後に水をやりました。追泊の入口です。
(6月8日)



植栽後の草取りの為に集まりました。
(7月12日、13日、15日)



マリーゴールドきれいに映えています。
(7月13日)

浜口農地水運営委員会の活動

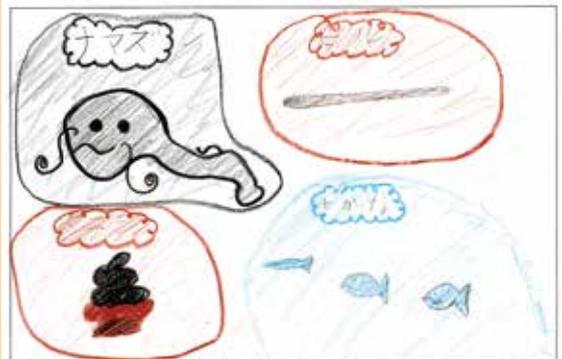
水生生物調査

平成26年6月25日（木）浜口小学校4年生児童16名の環境教育とタイアップして水生生物調査を実施しました。

1号幹線水路水門(八竜球場付近)での調査



ほとくは、ナマズやタニシなどの水生生物を言用いてすごくたのしかったです。いちほ"ん大い水生生物は、ナマズ"でした。リ。は"たヒゲ"か"はえていま"ソル"ソルしていてかわいかったです。フナの子ど"はすごくかわいかったです。浜田の用水路でナマズ"をつかまえてうれしかったです。大田の用水路でアサギ"をつかましました。清水さんや寺内さんから教えてもらった水生生物のつかまえてが"分かりました。また水生生物言用査に"いきたいです。



わたしは、水生生物調査でエビの仲間"のフ"をとって見たら、すごく"ち"かったです。タニシも"い"と"水"ました。ナマズ"のす"く"大"き"いのと、中"く"ら"い"のと、ち"ち"り"の"も"見"ま"し"た。ヒルも"と"水"ました。ち"ち"り"の"魚"も"と"り"ま"し"た。釣"物"は"き"ら"い"だ"け"と、"い"っ"ぱ"い"釣"物"を"と"る"こ"と"が"で"き"ま"し"た。魚"を"と"る"の"か"す"ご"く"う"水"し"た"た"で"す。ナマズ"の"か"げ"が"す"ご"く"長"か"っ"た"で"す。ナマズ"を"と"っ"て"お"た"が"た"で"す。

蓮沼周辺水路での調査



今日は水生生物調査でいろいろな水生生物をさがることができました。初めて聞いた「アミ」という生き物は、小さなエビのような生き物でした。大口の用水路には、この「アミ」を一番たくさんつかまえました。

他にも、ヒル、フナ、タニシ、ヤゴ、エビ、ゴリという生き物もいました。小さなナマズの赤ちゃんもつかまえました。大口の用水路には、ほかの生き物もいました。いらいとまでくまっていた清水さんは、水生生物のエサになるアミがたくさんいるから生き物がたくさんいる、と言いました。最後にポンプも見せてもらってプレゼントももらってうれしかったです。

今日はナマズは13匹、3匹の生き物がいて、深さがあって、大口のほうはアミという生き物のなごまかいました。そのアミは、いろいろな生き物が食べられてしまっています。アミがたくさんいる所はナマズとかフナとかたくさんいるよって、深田のほうは、大口とくまれている生き物が少ない。いた生き物は、ナマズ、タニシ、ヒル、アミ、タナゴ、ドロエビ、コイ、フナなどたくさん生き物がいました。最後に、ポンプ屋に行きました。たくさんのお水も流す所でも、その水も毎日お水をおく、ていふことで、今日は楽しかったです。

紙面の関係上、感想文は一部の方のみとさせていただきましたが、参加者全員からいただいております。有難うございました。
 尚、参加者は下記の方々です。
 加賀谷翔君 播磨前君 牧野真之介君 三浦錬君 金子天翔君 小林愛夏さん
 清水繭子さん 菅原紅那さん 田森想羽さん 西村優愛さん 島山菜和さん
 桧森未来さん 桧森優来さん 三浦優衣さん 毛利美優さん

平成26年度浜田地内の水生生物調査の取りまとめを報告致します。

平成26年度 水生生物調査（三種町浜田地区）

事業主体者名	三種町浜口地域農地・水・環境保全組織管理協定運営委員会 会長 清水義孝
調査日	平成26年6月25日（水）午前10：00～11：45
調査場所	浜田地内 出水口（八郎湖に流出口）ポイント7 出水口（蓮沼より流入口）ポイント4
天候	晴れ 無風
参加者	浜口小学校 4年生 16名
指導員	寺内征夫
調査補助員	清水義孝 畠山護 金子敏裕 清水成一
浜口小学校職員	浜口小学校教諭 藤原 牧野 田中 3名
三種町浜口土地改良区	役職員4名

1 調査目的

浜口地区内の環境は水田や畑地が多く、それに必要な水は近くの蓮沼や八郎湖から供給されている。そのような環境に視点をあて、「生き物（水生生物）と環境」をテーマに、地域の水路を活用した体験学習を通し、自分たち周囲の環境に目を向ける態度を醸成する。

2 調査方法

- ① 調査ポイント 2か所 ・ P7 出水口（周囲コンクリート水路）
・ P4 蓮沼から出水口の水路（土側溝水路20mの範囲）
- ② 魚とり網で数回すくい取る。
- ③ 観察用バット（園芸用大の鉢皿）に移し、種類、数等を記録。
参考資料 国土交通省水管理・国土保全編
- ④ 記録は、採集環境が分かるよう、言葉、図等で記録する。
- ⑤ 各班単位（3班）でポイントごと記録する。
- ⑥ すくい取った生き物は、終了後には水路に放流する。



3 用具

魚取り網 バット 記録用紙 筆記用具 ピンセット ルーペ他

4 留意事項

- ・水路だけでなく、周囲の環境全体をとらえさせる。
- ・蓮沼、八郎湖（水）の環境が大きく影響していることに気づかせる。
- ・コンクリート水路と土側溝の水路、沼の近く等の違いに注意し、観察を進める。
- ・危険防止に配慮する。



5 調査結果（児童の記録より）

(1) 生き物

- ① 甲殻類 エビ アミ（イサジャアミ）
- ② 巻貝類 タニシ
- ③ 魚類 フナ ウグイ ドジョウ ナマズ 種類不明の稚魚
- ④ 両生類 アマカエル
- ⑤ 昆虫 トンボ類の幼虫ヤゴ
ヘビトンボの幼虫と思われる アメンボ ゲンゴロウ

(2) 水の状態

- ・水田の水の流れはほとんどなかった（水量調整）。
- ・コンクリート水路は藻類の付着は少なく、土側溝水路の状態は水の流量が少なかった。（水田への調整中）



6 子どもの感想から意識の変化が見られたおもな内容

- ・生き物の命のみならず「水」であることに気づかせ、水の大切さと、水を確保するための工夫がなされていること（水路、蓮沼）。
- ・コンクリート水路と沼近くでは、水生生物の種類、魚の大きさ（成長）に違いがあること。
- ・地域で食べているフナやワカサギは八郎湖や蓮沼に生活する生き物であり、そのために環境や水を汚さないことや、自分たちが環境を守っていくことが大切であること。

7 その他

調査時期、調査ポイントの設定に検討を加え、児童生徒の興味・関心を高めるための工夫や継続された調査になるよう配慮し、児童生徒の今後の学習に生かされる調査にしたい。また、この度は土地改良区揚水場（蓮沼）の見学と改良区職員による説明は児童に理解しやすく、機械の稼働による用水路に流れる様子を実際に見学できたことは効果的であった。

昆虫生息調査

平成26年6月30日（月）浜口小学校3年生児童19名の環境教育とタイアップして昆虫
昆虫生息調査を実施しました。

旧芦崎分校グラウンドでの調査(周辺が水田に囲まれた場所)



こん虫の絵（気に入ったこん虫）

気付いたこと・感想

今日、わたしは、トンボやかまきりをとりました。トンボは、くさむらや葉の上のところにいました。とるのはおずかしかったけど、じんさんに、かまきりをと、ともらいました。トンボは、じぶんごととれたけど、かまきりは、じぶんではつかまえられなくて、いろいろな人にと、ともらいました。また、どこのくさむらにいて、いろいろなこん虫をと、りたいです。そして、とった虫は、パソコンやずかんでき調べて、じさいにとった虫をかってりたいです。

こん虫の絵（気に入ったこん虫）

気付いたこと・感想

きょうわたしはアケハチウをつかまえました。よくみたら羽の戸に青っぽいもようが少しついていました。とってききれいでした。またみつけたしたいと思います。わからなかったことかわかってよかったです。またあうちの人とかといっしょにデントウ虫やアリやバッタとかもつかまえたいと思いました。また虫のことをよくしらないのもっとくわしくしたいです。

昆虫生息調査

旧中山スキー場での調査(水田西側上部の丘)



ごん虫の絵 (気に入ったごん虫)



気付いたこと・感想
 てんとう虫を見て羽が水たまり
 に行きました。ごん虫はいくつかに
 行って、トンボとてんとう虫を捕ま
 ずのは少しだけですがごん虫をい
 はいつかまえたいです。ごん虫
 には羽のさき、ほかに色がついてま
 した。またごん虫はいくつかに
 行。てんとう虫とトンボをつかま
 たいです。夏休みにはひなた山に行
 たいです。

ごん虫の絵 (気に入ったごん虫)



気付いたこと・感想
 六月三十日月曜日に、ごん虫
 をさがしに行きました。わたしがみ
 つけたごん虫は、七星テントウ虫とカ
 マキリとトンボと、バッタを見つけまし
 た。カマキリは、2匹つかまえました。
 うれしかったです。テントウ虫のとぶしゅん
 かんも、みれてよかったです。あみさん
 は、カマキリのたまごを見つけまし
 ました。すごかったです。またごん虫
 行って、カブト虫や、ダンゴ虫も、
 みつけてみたいですね。

紙面の関係上、感想文は一部の方のみとさせていただきますが、参加者全員からいただいております。有難うございました。尚、参加者は下記の方々です。

荒川航輝君 伊東星良君 伊藤美羽飛君 川村卓也君 長谷川新君 檜森珀斗君
 三浦甚君 檜森優弥輝君 森山千里君 相澤真帆さん 金子幸徠さん
 金子月奏さん 熊谷彩未さん 清水爽音さん 清水りんさん 杉田妃菜さん
 檜森綺星さん 牧野琴子さん 三浦蒼衣さん

平成26年度浜口地区の昆虫生息調査の取りまとめを報告致します。

平成26年度 昆虫生息調査（三種町浜口地区）

実施主体者名	三種町浜口地域農地・水・環境保全組織管理協定運営委員会 会長 清水 義孝
調査日	平成26年6月30日（月）午前9：20～11：20
調査場所	浜口地区内 旧芦崎分校グラウンド（芦崎地区） 旧中山スキー場（大口地区）
天候	曇り 無風
参加者	浜口小学校 3年生 19名
調査報告書作成	三輪尚男
調査補助員	清水義孝 金子敏裕 清水成一
浜口小学校職員	浜口小学校教諭 伊藤 石川 田中 3名

1 調査目的

当町の基幹産業である農業やそれを支える環境の働きに視点をあて、「生き物（昆虫）と環境」をテーマに昆虫採集体験などを通して、地域の環境への関心を高める。

2 調査方法

- (1) 調査ポイント2ヶ所 旧芦崎分校グラウンド（芦崎）
旧中山スキー場（大口）

(2) 採集方法

- ① 当日、各自捕虫網などで採集し、虫かごに入れる。
- ② 2日前、2か所の調査ポイントの各5か所に、落とし穴トラップ（オサムシトラップ）を設置して採集する。地上を歩く昆虫の採集のため、プラスチック製のコップの上部を地面に合わせて地中に埋める。コップには少量の粉末酢（すしのこ）を入れる。
- ③ 2日前、旧中山スキー場に誘引トラップを設置して採集する。蜜に集まる昆虫の採集のため、2リットル入りのプラスチック容器の中程に2センチ位の穴を2か所あけ、容器の底には蜂蜜と焼酎の混合液を入れ、その容器を木の枝につるす。

(3) 記録

- ① 児童各自、採集した昆虫を記録し、感想などを書く。
- ② 記録後、採集した昆虫を放す。



3 用具

捕虫網、虫かご、記録用紙、筆記用具、救護用品

4 留意事項

- ・トラップを設置し、採集する昆虫の種類を増やす。
- ・昆虫が多く生息していることに気づかせる。
- ・危険防止に配慮する。

5 確認した昆虫（児童の記録など）

- ① トンボ目 アカネトンボ類、シオカラトンボ類
- ② チョウ目 モンシロチョウ、アゲハチョウ、モンキチョウ、シジミチョウ類、ヒョウモンチョウ類
- ③ コウチュウ目 テントウムシ類、オサムシ類、ゴミムシ類、シデムシ類、ゾウムシ類、ハムシ類、コメツキムシ類、コガネムシ類
- ④ バッタ目 バッタ類の幼虫
- ⑤ カマキリ目 カマキリ類の幼虫
- ⑥ ハチ目 アリ類
- ⑦ その他 ダンゴムシ（甲殻類、昆虫ではない）

6 児童の感想と今後の対応

- ・児童は昆虫生息調査に参加して、昆虫に強い興味を持ったようである。教科書と比較などしている児童もいた。昆虫の体の各部分の形や色などにも関心を持った児童が多かった。更に家族と今回の調査場所や日向山などで昆虫採集をしたいという希望を持った児童も多かった。採集を通して地域の環境への関心も向上したようである。
- ・栗の花が咲くこの時期は昆虫が多く出てくるので、調査時期としては良かったと思う。できれば秋の初め頃にもう一度生育調査の計画があれば、比較検討ができ、地域の環境への関心がもっと深まると思う。

平成26年度実施活動

■平成26年度に実施した主な活動は次のとおりです。（前期分）

平成26年8月31日現在

月 日	各組織の活動内容
4月2日	運営委員会決算監査
4月10日	第1回運営委員会（決算）
4月11日	浜田農水環保全隊、点検及び機能診断
4月11日	浜田農水環保全隊、ゲート被覆取り外し
4月14日	浜田農水環保全隊、蓮沼から廃船引上げ
4月19日	大口みどり会婦人会、施設の清掃（ゴミ清掃）
4月20日	大口みどり会、水路泥上げ
4月21日	芦崎ふるさと会、点検及び機能診断
4月22日	浜田農水環保全隊、水路マス泥上げ
4月24日	大口みどり会、ゲート被覆取り外し
4月24日	大谷地まるやま会、点検及び機能診断
4月25日	構成員へ決算報告書配布及び地区外郵送
4月26日	大口みどり会、点検及び機能診断
4月26日	芦崎ふるさと会、水路泥上げ
4月27日	浜田農水環保全隊、施設の清掃（ゴミ清掃）
4月27日	大谷地まるやま会、水路泥上げ
4月27日	大谷地まるやま会、水路補修
4月28日	浜田農水環保全隊、遊休農地草刈り
4月29日	浜田農水環保全隊、水路目地補修
4月29日	大谷地まるやま会、水路橋架け
4月30日	大口みどり会、水路掘削
4月16日～18日	浜田農水環保全隊、水路掘削
4月21日～22日	芦崎ふるさと会、水路掘削
4月23日～24日	芦崎ふるさと会、水路補修
4月27日～28日	大口みどり会、水路補修
5月1日	大口みどり会、パイプライン補修
5月18日	芦崎ふるさと会、植栽準備
5月31日・6月1日・3日	大谷地まるやま会、植栽準備（草取り）
6月5日	芦崎ふるさと会、植栽
6月5日～9日	浜田農水環保全隊、農地・水路・農道・ため池草刈り
6月7日～11日	芦崎ふるさと会、農地・水路・農道草刈り
6月7日～8日・10日	大谷地まるやま会、農地・水路・農道草刈り
6月7日～9日	大口みどり会、農地・水路・農道草刈り
6月9日～11日	大口みどり会、植栽準備
6月8日	大谷地まるやま会、植栽作業
6月11日	浜田農水環保全隊、植栽箇所の草取り及び、補植
6月13日	第2回運営委員会
6月14日	浜田農水環保全隊、水路除草作業（従来の普請）
6月14日	大口みどり会、植栽
6月17日	浜田農水環保全隊、遊休農地草刈り
6月25日	運営委員会、水生生物調査
6月30日	運営委員会、昆虫生息調査
7月3日・7日	大口みどり会、植栽散水
7月4日	大口みどり会、パイプライン補修
7月7日	浜田農水環保全隊、遊休農地調査
7月7日	大口みどり会、遊休農地調査
7月10日～13日	大口みどり会、農用地・水路・農道草刈り
7月11日～15日	浜田農水環保全隊、農用地、水路・農道、ため池草刈り
7月12日～13日	大谷地まるやま会、農用地・水路・農道草刈り
7月12日～13日・15日	大谷地まるやま会、植栽草取り
7月12日～16日	芦崎ふるさと会、農用地・水路・農道草刈り
7月12日	芦崎ふるさと会、遊休農地調査
7月17日～18日	大口みどり会、植栽草取り
7月22日	第3回運営委員会
7月23日	浜田農水環保全隊、遊休農地草刈り
7月28日	浜田農水環保全隊、植栽草取り
7月31日	芦崎ふるさと会、植栽草取り
7月31日	浜田農水環保全隊、水路・農道清掃（大日寮）
8月2日～3日	大谷地まるやま会、植栽草取り
8月6日	大谷地まるやま会、遊休農地調査
8月12日	大口みどり会、植栽草取り
8月17日～20日	大谷地まるやま会、農地・水路・農道草刈り
8月20日	浜田農水環保全隊、水路・農道清掃（大日寮）
8月21日～25日	芦崎ふるさと会、農地・水路・農道・草刈り
8月22日～25日	浜田農水環保全隊、農地・水路・農道
8月22日～23日・25日	大口みどり会、農地・水路・農道・草刈り
8月26日	芦崎ふるさと会、農道補修
8月28日	浜田農水環保全隊、水路除草作業（従来の普請）
8月29日	運営委員による各組織、活動現地確認
8月29日	第4回運営委員会

運営委員会及び各組織役員浜口農地水運営委員会

会 長	清水 義孝
副 会 長	金子 俊顕
経 理 責 任 者	荒 谷 益太郎
書 記 ・ 会 計	清 水 成 一
書 記 ・ 会 計 補 佐	畠 山 勝 巳
監 事	三 浦 広 正
監 事	泉 英 幸
運 営 委 員	清 水 好 道
運 営 委 員	金 子 敏 裕
運 営 委 員	伊 藤 良 平
運 営 委 員	門 間 一
運 営 委 員	畠 山 清
運 営 委 員	牧 野 秀 孝

浜田農水環保全隊

代 表 表	清 水 義 孝
副 代 表 表	牧 野 秀 孝
副 代 表 表	松 森 保 雄
副 代 表 表	松 森 茂 樹
監 査 役	杉 沢 洋 之
監 査 役	加 賀 谷 総 勝
書 記	清 水 成 一
書 記	畠 山 健 一
会 計	清 水 好 道
会 計	松 森 元 明
役 員	三 浦 幹 忠
役 員	牧 野 昌 信
役 員	加 賀 谷 春 美
役 員	加 賀 谷 喜 一

大口みどり会

代 表 表	金 子 俊 顕
副 代 表 表	加 賀 谷 幸 悦
副 代 表 表	荒 谷 益 太 郎
監 査 役	川 村 博 文
監 査 役	石 田 光 良
書 記	川 村 昌 人
会 計	金 子 敏 裕
役 員	荒 谷 由 範
役 員	加 賀 谷 茂
役 員	金 子 誠
役 員	高 橋 享 子
役 員	川 村 公 子

芦崎ふるさと会

代 表 表	三 浦 広 正
副 代 表 表	伊 藤 良 平
副 代 表 表	伊 藤 金 一 郎
副 代 表 表	門 間 一
監 査 役	工 藤 一 誠
監 査 役	伊 藤 康 光
書 記	門 間 宗 一 郎
会 計	伊 藤 秋 夫
役 員	岩 谷 健 作
役 員	門 間 芳 継
役 員	工 藤 浩 文
役 員	門 間 広

大谷地まるやま会

代 表 表	泉 山 英 幸
副 代 表 表	畠 山 勝 巳
監 査 役	金 谷 良 悦
監 査 役	畠 山 恵 雄
書 記	小 林 篤 篤
書 記	畠 山 篤 篤
会 計	畠 山 篤 篤
役 員	畠 山 重 直
役 員	畠 山 一 信
役 員	小 林 シ ナ
役 員	畠 山 清

編 集 後 記

広報も第5号となりました。各広報委員が知恵を絞りながら毎回作り上げています。今回は植栽の特集と、浜口小学校との水生生物調査、昆虫生息調査を中心に作成しました。特に大口地区での植栽復活までには、10年以上の年月を要しましたが、地域の人達には大変喜ばれています。このようにこれからも、少しでも活動をわかりやすく紙面を通して伝えて行ければと思います。

（広報委員 清水成一）